

「SS研、発信します！」

第13弾

2018.1

清風学園を紹介します

SS研から情報発信する「SS研、発信します！」
第13弾は、清風学園を取材させていただきました。
未来的日本を担う中学生、高校生に
どのような教育方針で
取り組まれているか
うかがいました。



●高野山100km歩行は昼夜兼行で学校から高野山まで歩きます。

世のため人のために
尽くす若者を育てる
一つの手段として
仏教の戒律に基づいた、
宗教教育を行っています。
修養行事が年に一回
あり、全校生徒が
参加します。

清風学園は
中高一貫校として、
文武両道のバランスの
とれた教育に力を
入れています。

「財」とは何かというと
「お金の管理をしっかりと
しない」ということです。
とにかく「保証人に
なってはいかん！」と
中学生から教えています。
それが信用につながり、
自分だけではなく
他人をも幸福にします。



●関西屈指の体操設備が整っており
日本の代表となる体操選手の
育成をしています。



平岡 弘章 副校長



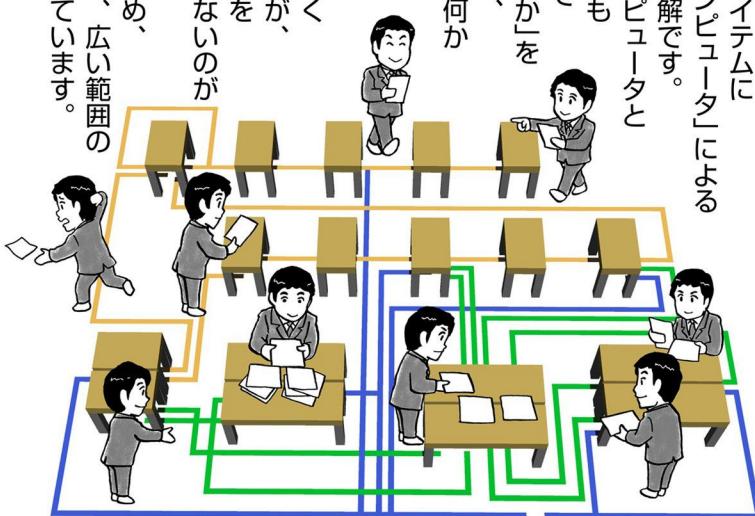
井上 愛一郎 先生



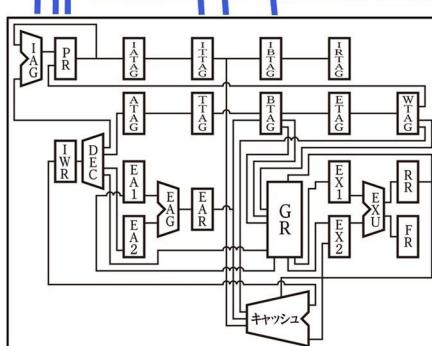
●清風学園

コストがかからず、
いろいろと応用がきく
優れた発想なのですが、
コンピュータの基礎を
教えられる先生がないのが
大きな問題です。先生方への教育も含め、
当学園だけではない、広い範囲の
学習プランを企画しています。

新しいIT教育のアイテムに
選んだのが「人間コンピュータ」による
CPUの仕組みの理解です。
日頃使っているコンピュータと
いうものが、そもそも
どのような仕組みで
計算を行っているのか」を
体感することにより、
電子情報の本質とは何か
について学びます。



右図の回路を教室に再現し、
生徒は命令を運びながら
演算の仕組みを学びます。
簡単な「足し算」ですら、
データ処理の本質を体感
できれば良いと考えます。
すごく時間がかかります。



これが、低コストでコンピュータの原理を学べる「人間コンピュータ」です！

「徳・建・財」を教育三大目標としています。
「財」とは何かというと
「お金の管理をしっかりと
しない」ということです。
とにかく「保証人に
なってはいかん！」と
中学生から教えています。
自分が信用につながり、
自分だけではなく
他人をも幸福にします。



●「金を貸さずに知恵を貸せ！」と教え、「自利利他」を重んじる生活を身につけます。

今、IT教育が重要な
と考えています。
身の回りがこれほど
デジタルデバイスに
囲まれ、情報過多な
生活は大人ですら
経験がありません。
ただし、情報教育には
かなりの予算がかかるので
お金をかけずに本質を学ぶ
新しい発想が必要です。



●コンピュータを学び、デジタルデバイスを
上手に使えるようになって欲しい。

●「SS研、発信します！」は、SS研会員の方々のご要望により訪問取材させていただきます！
まずは事務局まで連絡ください！